



おぐら山にはNPO団体が  
公衆浴場を建設中です  
(写真中央の鉄骨の建物)



阿部幸一議員

## 災害復旧

# 雇用の場の確保を

## 事業所の早期再開に努める

**質問** 雇用の場がなくなつた人たちに食べるすべをつくつてあげるのを忘れてはいけないと思うが、町はどのように考えているか。

**沼崎町長** 行政としても議員の意見のとおりだと考えており、雇用の場を確保す

るため、中小企業向けの仮施設整備事業や県の災害対応の補助事業を推進し、水産加工業などの製造業、商店など事業所が早く再開できるよう努めている。併せて災害対応の融資制度に対して無利子になるよう利

子補給等の支援もしている。また雇用規模30人程の造船場の企業誘致を図るとともに、新たな工場の立地が図られるよう企業の誘致についても努力する。

## 災害復旧

# 町の被害額は

# 概算で354億円

**質問** 町の被害額はいくらか。

**沼崎町長** 社会教育施設や体育施設等54施設で21億2300万円、水道関係施設が6億4700万円、水産関係施設が233億3900万円、農業用施設が17億8000万円、道路や公営住宅等が10億2400万

円、下水道施設が6億4700万円、学校施設が9億6800万円、個人住宅等が3347棟で4億5600万円となり、合計で354億3500万円となる。

なお、それぞれの被害額は項目ごとに集計方法が異なることからあくまでも概算の数字である。

## 町の考えを聞く